

(別記)

## 今別町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町における水田面積は、約 247 ha で一戸あたりの耕作面積は 1.49 ha である。このうち水稲作付面積は約 100 ha、水稲作付農家一戸当たりの水稲作付面積は約 2.77 ha となっている。

主要な振興作物は、経営所得安定対策の戦略作物でもある飼料作物（作付面積約 105 ha）であり、地元畜産農家の需要に応えた、作付面積の維持・拡大が重要になっている。

また、地域振興作物については、地域特性を生かした「ばれいしょ・かぼちゃ・にんにく・トマト・なす・きく」を、米との地域複合農業として発展させていく必要がある。

一方、農家人口は、農業者の高齢化や後継者不足から徐々に減少し、平成 12 年には 346 戸あった農家戸数が現在は 165 戸となっている。

このため、認定農業者など担い手を中心に借地や作業受託の拡大、農地の利用集積を推進するとともに、農業機械の効率的利用によるコスト削減と生産性向上に努めながら、産地交付金を活用した地域振興作物の推進を図り、地域農業の維持・発展に努めていく。

### 2 作物ごとの取組方針等

町内の約 247ha(不作付地を含む)の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を活用しながら、作物生産の維持・拡大を図る。

#### (1) 主食用米

近年の需要動向や J A 等出荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、農業者が蓄積してきた技術と既存農業機械を有効に活用できる飼料用米の生産拡大を図る。また、飼料用米の生産拡大に当たっては、県設定及び地域設定の産地交付金を活用しながら、多収品種の導入を推進するとともに、地域設定の産地交付金の活用による疎植栽培等のコスト低減の取組の導入推進と作業労働時間の見直しを図り、3 年後(平成 32 年度)には、水稲作付面積の約 30% (30 ha) 程度の導入を目指す。

##### イ 米粉用米

「取組なし」

##### ウ 新市場開拓用米

「取組なし」

##### エ WCS 用稲

主食用米の需要減が見込まれる中、地元の畜産農家からの需要がある WCS 用稲にも注目し、地域設定の産地交付金を活用しながら直播や疎植栽培等のコスト低減や多収品種の導入推進を図り、3 年後(平成 32 年度)には、水稲作付面積の約 2% (2 ha) 程度の導入を目指す。

##### オ 加工用米

「取組なし」

カ 備蓄米  
「取組なし」

(3) 麦、大豆、飼料作物

飼料作物については、畜産農家との連携を図り、契約を継続して結び現行の栽培面積を維持する。

麦、大豆については取組なし。

(4) そば、なたね  
「取組なし」

(5) 高収益作物（野菜等）

「ばれいしょ・かぼちゃ」は、気象・土地条件等から、町内での生産に適した重要な振興作物であり、「にんにく、トマト、なす、きく、アスパラガス、えだまめ、ぎょうじゃにんにく」と合わせ、地域設定の産地交付金を活用し、担い手による高品質化と安定生産を推進し、県外市場への売り込みやPRにより産地ブランド化と作付面積拡大を目指す。

特に、圃場整備事業後の水田へ、高収益野菜の作付を推進し、担い手による高品質、安定生産を目指した作物の産地化を目指す。

(6) 畑地化の推進  
「取組なし」

**3 作物ごとの作付予定面積**

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	100.0	95.5	108.2
飼料用米	18.3	11.6	30.0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS 用稲	0.5	0.5	2.0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	0	0	0
飼料作物	104.7	106.2	106.2
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	7.15	5.31	9.24
野菜			
・ばれいしょ	1.75	1.54	2.5
・かぼちゃ	2.75	1.12	2.8
・にんにく	0.2	0.2	0.3
・トマト	0.73	0.73	1.7
・なす	0.24	0.24	0.3

・きく	0.02	0.02	0.02
・アスパラガス	0.43	0.43	0.43
・えだまめ	0.24	0.24	0.4
・ぎょうじやにんにく	0.79	0.79	0.79

#### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	現状値		目標値	
				(29年度)	(32年度)	(29年度)	(32年度)
1	飼料用米(多収品種)	生産性向上作付拡大助成	多収品種作付面積 取組面積 労働時間	(29年度) 11.6ha (29年度) 6.3ha (29年度) 100時間/10a	(32年度) 20.0ha (32年度) 11.4ha (32年度) 80時間/10a		
2	飼料用米(一般品種)	生産性向上作付拡大助成	一般品種作付面積 取組面積 労働時間	(29年度) 6.7ha (29年度) 4.2ha (29年度) 100時間/10a	(32年度) 10.0ha (32年度) 9.2ha (32年度) 80時間/10a		
3	WCS用稲	振興作物助成	取組面積 労働時間	(29年度) 0.5ha (29年度) 30時間/10a	(32年度) 2.0ha (29年度) 15時間/10a		
4	ばれいしょ・かぼちや・にんにく・トマト・なす・きく・アスパラガス・えだまめ・ぎょうじやにんにく	振興作物助成	取組面積	(29年度) 5.31ha	(32年度) 9.24ha		